岩手県
田野畑村議会
No.149
2026.11.13

議会だより

たのはた

９月定例会

2ページ　令和７年度決算を認定
令和８年度補正予算などを
可決
4ページ　議案ピックアップ
6ページ　ここが聞きたい！一般質問
8ページ　みんなのスマイル



福耳かりんとうで
笑顔も満福（まんぷく）！

たのはた村産業まつりが10月18日、アズビィ楽習センター周辺で開催されました。多くの人でにぎわう中、「福耳かりんとう」に思わずにっこりの４人組。地域の味と活気がたくさんの笑顔を咲かせた１日となりました。



令和７年度決算を認定

一般会計は歳出 53 億 695 万円

第５回定例会は、９月 10 日から９月 17 日までの会期で開かれました。村長から提案された報告１件、議案７件、認定６件、同意案８件を可決しました。また、特別委員会の閉会中の継続審議２件、次期定例会までの議員派遣についても可決。一般質問は５名が登壇し、村政運営と産業振興、教育行政について村の考えに質問しました（5～7ページに掲載）。



令和７年度決算

●一般会計　歳出総額53億695万2567円、執行率88・0％、賛成全員で認定

●国民健康保険特別会計

【事業勘定】歳出総額４億2680万8568円、執行率70・0％、賛成全員で認定

【直営診療施設勘定】歳出総額１億2758万5910円、執行率92・9％、賛成全員で認定

●介護保険特別会計

【保険事業勘定】歳出総額５億1932万2699円、執行率95・8％、賛成全員で認定

【介護サービス事業勘定】歳出総額127万7458円、執行率88・8％、賛成全員で認定

●後期高齢者医療特別会計　歳出総額5253万8898円、執行率98・5％、賛成全員で認定

●簡易水道事業会計

【収益的収入及び支出】収入総額２億2460万8679円、支出総額２億1922万237円、賛成全員で認定

【資本的収入及び支出】収入総額１億876万8000円、支出総額１億875万7639円、賛成全員で認定

●下水道事業会計

【収益的収入及び支出】収入総額１億5187万7993円、支出総額１億4555万4364円、賛成全員で認定

【資本的収入及び支出】収入総額１２７３万２０００円、支出総額２９７１万４７３２円、賛成全員で認定

議決した主な議案

●令和７年度田野畑村の健全化判断比率及び資金不足比率の報告

健全化判断比率は次表のとおりです。実質公債費比率（※参照）は10・8％で、早期健全化基準値25・0％を下回りました。

比　率　名	令和７年度	健全化判断基準
実質赤字比率	―	15.0%
連結実質赤字比率	―	20.0%
実質公債費比率	10.8%	25.0%
将来負担比率	―	350.0%
資金不足比率	―	20.0%

比率が算定されなかった場合は「―」を記載

※実質公債費比率…一般財源に対する公債費（借金）の割合。18％以上になると県知事の許可が必要。

●田野畑村特別職報酬等審議会条例の一部を改正する条例

田野畑村特別職報酬等審議会の運営の効率化を図るため委員の定数を改正しようとするもの。

●財産の取得に関し議決を求めることについて

・取得財産…学習者用コンピューター等、185台

・取得額…1322万7500円

・契約の相手方…㈱システムベース代表取締役社長　折笠英輝

●田野畑小学校体育館空調設備等設計及び施工一括型工事請負契約の締結に関し議決を求めることについて

・契約金額…9960万5千円

・契約の相手方…㈱村山電機商会　代表取締役　村山利一

・完成予定　令和９年３月

●令和８年度一般会計補正予算（第５号）

２億4372万3千円を追加し総額を43億6912万7千円とするもの。主な内容は次のとおり。

・財政調整基金積立金…１億612万8千円

・村債管理基金積立金…2429万8千円

・過年度分障害者自立支援給付費国庫負担金返還金…889万1千円

・過年度分障害者自立支援給付費県費負担金返還金…444万5千円

●令和8年度国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

【事業勘定】92万3千円を追加し、総額を5億9211万3千円とするもの。主な内容は次のとおり。

・総合保健施設BSアンテナ設置工事…46万2千円

・特定健康診査等国県負担金返還金…44万9千円

【直営診療施設勘定】173万1千円を追加し、総額を1億5010万4千円とするもの。主な内容は次のとおり。

・診療所施設・設備改修設計業務委託料（医科）…96万8千円

・庁用器具費（医科）…29万3千円

●令和8年度介護保険特別会計補正予算（第2号）

【保険事業勘定】4488万5千円を追加し、総額を5億8019万9千円とするもの。主な内容は次のとおり。

・介護給付費負担金等返還金…3198万円

・介護給付費準備基金積立金…1006万1千円

●簡易水道事業会計補正予算（第2号）

簡易水道事業費2888万9千円を追加し、総額を2億942万4千円とするもの。主な内容は次のとおり。

・漏水調査委託料…137万5千円

・産業廃棄物処分委託料…68万5千円

人事案件に同意

●教育委員会委員

任期満了に伴う教育委員に熊谷勤己氏を任命することに同意。任期は、令和8年10月1日から4年間です。

●農業委員会委員

任期満了に伴う農業委員に、次の7名を任命することに同意。任期は、令和8年11月27日から3年間です。

畑山正明氏、澤口靖氏、熊谷正行氏、熊谷宗矩氏、菊地貴文氏、川畑和子氏、畠山直美氏

討論（7年度決算認定）

賛成　上村　浩司議員

全国的な自然災害や物価高騰、鳥獣被害など、非常に厳しい状況が続く中、思惟インターチェンジの開通による道の駅への集客、ふるさと納税の返礼品など、村の産業と観光の情報発信を担う事業の明るい話題を期待している。

様々な機会をとらえ、多くの方に村づくりへ参加いただけるよう、協力関係の構築に尽力くださることを希望し、令和7年度一般会計、各特別会計ならびに買う公営企業会計の歳入歳出決算に賛成する。

9月定例会で決まったこと

議案番号	議案名等	審議結果	議案番号	議案名等	審議結果
報告第1号	令和7年度田野畑村の健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	報告	認定第4号	令和7年度田野畑村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定
議案第1号	田野畑村特別職報酬等審議会条例の一部を改正する条例	可決	認定第5号	令和7年度田野畑村簡易水道事業会計決算認定について	認定
議案第2号	財産の取得に関し議決を求めることについて	可決	認定第6号	令和7年度田野畑村下水道事業会計決算認定について	認定
議案第3号	田野畑小学校体育館空調設備等設計及び施工一括型工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについて	可決	同意案第1号	田野畑村教育委員会委員の任命に関し同意を求めることについて	同意
議案第4号	令和8年度田野畑村一般会計補正予算（第5号）	可決	同意案第2号	田野畑村農業委員会委員の任命に関し同意を求めることについて	同意
議案第5号	令和8年度田野畑村国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可決	同意案第3号	田野畑村農業委員会委員の任命に関し同意を求めることについて	同意
議案第6号	令和8年度田野畑村介護保険特別会計補正予算（第2号）	可決	同意案第4号	田野畑村農業委員会委員の任命に関し同意を求めることについて	同意
議案第7号	令和8年度田野畑村簡易水道事業会計補正予算（第2号）	可決	同意案第5号	田野畑村農業委員会委員の任命に関し同意を求めることについて	同意
認定第1号	令和7年度田野畑村一般会計歳入歳出決算認定について	認定	同意案第6号	田野畑村農業委員会委員の任命に関し同意を求めることについて	同意
認定第2号	令和7年度田野畑村国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	同意案第7号	田野畑村農業委員会委員の任命に関し同意を求めることについて	同意
認定第3号	令和7年度田野畑村介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	同意案第8号	田野畑村農業委員会委員の任命に関し同意を求めることについて	同意

議案 PICK UP



㈱サンマッシュ田野畑への緊急の長期貸付を可決

1 貸付が必要となった経緯

株式会社サンマッシュ田野畑は、平成21年にしいたけ等の菌床・茸類の製造販売および就労機会の創出により地域貢献をするため、村と株式会社北研が出資して設立しています。平成23年度から令和4年度までは、おおむね黒字決算でしたが、近年の物価高騰、最低賃金の急激な上昇に伴う製造原価の高騰および夏季の高温の影響などによる生産量減少の影響により、令和5年度から7年度にかけて赤字決算となっています。

大きな要因としては、村内菌床椎茸生産者の相次ぐ撤退に伴う菌床販売の縮小に対応するため、茸類生産量の増を図る「全面短期栽培モデル」を採用しましたが、菌床管理や品質コントロールが物理的に難しい状況となり、結果として収穫量不足と品質低下を招くという悪循環に陥ったことがあります。

対策として、「上面栽培」に変更し、製造菌床数の適正化を行い、管理の徹底による1菌床あたり生産量の増加と品質向上に伴う単価向上、製造菌床数の適正化に伴う原価低減により、収益構造の改善に取り組んでいます。また、新たに凍結加工商品の事業にも着手しており、高付加価値商品の販売による収益補てんを図ることとしています。

上面栽培への切り替えは、今期第1四半期に完了していますが、上面栽培による栽培技術の習得や管理体制強化の取り組みが途上にあること、凍結加工商品も事業の本格化には一定の期間を要することから、現状、収益改善には至っていません。

これらの対策の効果発揮を見込む来期までの資金不足が懸念されることから、緊急の運転資金支援の依頼があり、出資者である村および株式会社北研が協調して貸付を実施しようとするものです。



サンマッシュ田野畑で育てたしいたけ

2 貸付の決定

償還期間は20年間とし、当初4年間は償還を据え置き、以後毎年1111万5千円を15年間償還し、最終年に1112万5千円（端数調整による）を償還することで、議会はこれを可決しました。

長期貸付金の内容	
金　額	3,500万円 村　（出資比率51％）1,785万円 (株)北研（出資比率49％）1,715万円
使　途	運転資金
その他	出資比率に応じて、村及び株式会社北研が貸付を行う
償還期間	20年間（4年間据え置き）

この言葉ってどういう意味？
～用語の解説～



「緊急運転資金」

会社や事業の〝突然の息切れ〟を防ぐための『応急手当て用の酸素（キャッシュ）』です。

普段は順調に回っていても、例として取引先の倒産や売上の急減、支払いの遅れなどで、手元の現金が一時的に足りなくなることがあるため、素早く確保するお金のことを指します。

「貸付金」

村が福祉向上や産業振興を図るために一次的にお金を「貸している」制度のことです。

貸し付けたお金は、あらかじめ決めた期日までに村へ返還(返済)される仕組みになっています。

返ってきたお金は、別の支援や村の行政サービス等へと活用されます。

ここが聞きたい！　一般質問

一般質問は９月 10 日に行われ、畠山智議員、佐々木伸議員、髙橋奈々美議員、小野協次議員、上村浩司議員の５人（登壇順）が、村政運営や教育行政について、村の考えを問いました。**（5～7ページに掲載）**

質問者	質問項目
畠山　智	◆選挙時に掲げられた「より産業を強く」の方向性について ◆有害鳥獣対策の強化について （その他の質問）寄贈を受けた萩牛地区の土地・家屋について
佐々木　伸	◆老朽化施設における解体事業計画と地域内雇用について ◆村と漁協の不漁対策、漁協と陸中たのはたの業務連携協定の検討や施策を伺う （その他の質問）「より産業を強く」の実績と成果について　ほか１件
髙橋奈々美	◆各会における女性委員の登用、女性管理職の登用率と今後の目標について ◆女性が活躍する上で支障となっていること、活躍を推進するための方向性と施策を伺う。 （その他の質問）指定ごみ袋の供給不足に伴う臨時措置等について　ほか１件
小野　協次	◆新庁舎建設候補地の災害対策について ◆小中一貫教育について （その他の質問）田野畑村総合計画について　ほか５件
上村　浩司	◆体験型観光における安全管理や費用など今後の支援について



畠山　智 議員

「より産業を強く」の方向性は

村長…農林水産業・観光業における市況の変化に的確に対応していく

【問】「より産業を強く」の方向性について、主力産業は何で、どう支援していくのか伺う。

【村長】本村の主力産業は、恵まれている自然・生産環境を活かし営まれてきた第一次産業を主力産業と考えている。

農林水産業は機械の整備や導入、改修・改良、物価高騰支援交付金等を実施してきた。観光業はインターネット広告やテレビ媒体でのＣＭ展開など、多角的な情報発信に取り組んでいるところ。

また、事業者への経営支援策として、国の交付金を活用した光熱費補助やプレミアム付き商品券および地域商品券の発行による地域経済の活性化など、各種施策を講じてきた。

今後も、観光需要の喚起と事業者の経営基盤の安定の両面から、持続的な発展に向けた支援を継続していきたいと考えている。

【問】有害鳥獣による人的被害や農作物への被害の早急な対策について伺う。

【村長】令和６年度から、電気柵整備費補助金による鳥獣被害防止対策へ支援を開始し、令和７年度には鳥獣緩衝帯整備事業として２自治会に補助を行ったほか、広報で鳥獣を寄せ付けないための対策の周知を図っている。

村鳥獣被害防止対策実施隊による精力的な活動により、捕獲数も年々増加している一方で、生息数は増え続けていると推測され、目撃情報、農作物等の被害の減少には至っていない。

今年の８月にはツキノワグマによる人身被害も発生した。

今後も有効な情報の入手や日常生活での対策の周知に努め、引き続き被害防止対策を進めるとともに、安全で効果的な捕獲活動を展開していく。



佐々木　伸 議員

地域資源を活かした新雇用とは

村長…老朽化施設の解体事業を地域雇用を守る施策のひとつと考える

【問】老朽化した公共施設を「壊す」公共事業へシフトし、地域の雇用を守る施策において、優先順位や開始時期、どれくらいの雇用や経済効果を見込んでいるのか伺う。

【村長】公共施設の維持管理、長寿命化や解体等の方針は、公共施設等総合管理計画および公共施設等個別施設計画に今後の対策を定めている。その計画の中で、建築後の経過年数が長く老朽化が進んでいる施設を優先的に、今後活用が見込めない施設について、周囲への危険性や財政状況を勘案し順次進めていきたいと考えている。

解体事業による経済効果としては、新たな雇用を生み出すものではなく、現在の雇用状況を可能な限り維持継続させていくもの。解体事業により、建設事業者は一定の工事量の確保が見込まれることから、地域内の雇用を守るひとつの施策につながると考えている。

【問】漁協との不漁対策の取組、漁協と陸中たのはたの業務連携協定の検討や施策を伺う。

【教育長】漁協が実施するアワビ稚貝と稚ナマコ放流事業の全額補助の継続実施および自営定置網の改良整備に補助を行った。ウニの畜養試験も全額補助による支援を行っているが、陸上での試験は難航しており、県宮古水産振興センターの協力を得ながら、漁港施設内の海中の試験を開始していると承知している。

漁協と陸中たのはたは、ウニの供給について連絡を密に取り協力し対応しているが、今季は時化の傾向が強く、例年に比べ開口日も水揚げも非常に少ない状況となり、希望量の確保が出来なかった。

冬の早採りワカメの提供についても協力し取り組む予定であり、お客様に提供する取り組みについて、連携、協力を継続していく。



髙橋　奈々美 議員

女性委員の登用は

村長…多様なポストへの配置や人材育成を引き続き実施していく

【問】各種審議会・委員会等における女性委員の登用状況、女性管理職の現在の登用率と今後どの程度の登用を目標とするか伺う。

【村長】岩手県の調査に該当する本村の審議会等の数は5つであり、そのうち女性がいる審議会は5つとなっており、総委員数57人に対し、女性は17人、29・8％を占めている。

次に、女性管理職の登用率は、現在管理職17人のうち2人で、登用率は12％、課長補佐級職員は9人中5人の約56％となっている。

今後の目標は、本年度策定した田野畑村特定事業主行動計画において、管理職に占める割合を20％以上とすることである。

目標の達成に向けては、女性職員の多様なポストへの配置や各役職段階における人材の確保を念頭に置いた人材育成を引き続き実施していく。

【問】女性が活躍する上で支障となっていることや、活躍を推進するための方向性と具体的な施策を伺う。

【村長】これは県全体で取り組んでいる課題であり、地域、家庭、職場などの場面において、性別による役割について無意識の思い込みがあることに気づくこと、世代間や性別間のギャップを解消していくことの重要性を皆で共有していくことが肝要と認識している。

特に地方は、役割や活躍の場面が固定化されがちな風土が生きづらさに繋がり、人口流出の遠因と指摘されているところ。

性別や年代にかかわらず、行政、自治会活動、教育活動など、意欲ある方がその意欲を発揮できる環境の構築、「女性だから」と限られるのではなく、あらゆる課題に対して、誰もが活躍できる社会を目指すことが重要であると考える。



小野 協次 議員

新庁舎建設候補地の災害対策は

村長…自然災害等のさまざまなリスクを勘案し有効な敷地利用を検討

【問】職員や来庁者が緊急避難をすることを想定し、新庁舎は「2階建て」を検討すべきと考えるが、見解を伺う。

【村長】土砂災害警戒区域（イエローゾーン）については、建築基準法に基づく特別な建築制限や構造規制はないことから、アズビィ楽習センター南側の村有地は、土砂災害警戒区域に隣接しているものの、被災等によるリスクは少ないものと捉えている。

ただし、想定外の対策も考慮しておく必要もあることから、本当に大丈夫なのかと再確認を重ねていきたいと考えている。

構造等の詳細については、今後の基本設計の過程で検討を重ねていくことになるが、皆さまからの意見を踏まえ、自然災害等のさまざまなリスクを勘案しながら、有効な敷地利用を含めて検討していく。

【問】将来、小中一貫型教育を検討する場合でも、組織上、それぞれに校長、教職員を有する学校を検討すべきと考えるが如何。

【教育長】小中連携教育のうち、「小・中学校段階の教職員が目指す子ども像を共有するとともに、9年間を通じた教育課程を編成し系統的な教育を目指す教育」が「小中一貫教育」と一般的には言われており、広義としては連携教育の大きなくくりの中に位置づいている教育であると認識している。

なお、「小中一貫教育」の実施にあたっては、学校の施設の形態（一体型、隣接型、分離型）は問わないこととされている。

児童生徒が減少する中で、どのような教育を進めていくことが「田野畑の子どもたちのため」になるのかを踏まえながら、連携または一貫を含め、今後の教育の在り方と方向性を考えて参りたい。



上村 浩司 議員

体験型観光の事業継承は

村長…運航事業者と情報共有し、国や県への経費負担の要望を続ける

【問】サッパ船での断崖クルージングにおける安全管理や設備等の費用など、現状をどう捉え、今後どのような支援が可能か伺う。

【村長】海上運送法における不定期航路事業および遊漁船業の適正化に関する法律の改正により、安全基準が大幅に強化され①法定無線設備②非常用位置等発信装置③救命いかだ等の搭載が求められることとなった。

法定無線設備については、サッパ船の漁業における利用に支障が生じないよう、衛星携帯電話での対応を予定しているが、携帯電話機の購入費および使用料の負担が大きくなることから、無線設備取扱事業者や運航事業者と情報共有しながら、負担のあり方について検討していく。

非常用位置等発信装置については、すでに整備を完了している。

また、救命いかだについては、海水温が15度以上であるとされる6月21日から11月18日までの期間は搭載を要しないこととされているが、それ以外の期間については、救命いかだの搭載、または救助定員を満たした伴走船の航行が必要とされている。そのうち繁忙期であるゴールデンウイークの運航対策については、伴走船の航行による対応を検討している。

いずれにしても、運航事業者にとっては事業そのものの存続の懸念や、大きな経費負担が生じることから、航行区域や水温に応じた義務化の緩和、既存の無線設備の有効活用について、国や県に対し、引き続き要望していく。



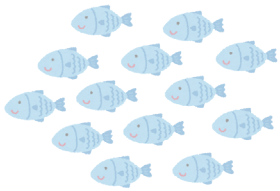
みんなのスマイル



川畑（かわはた）　凰弥（こうや）さん
（羅　賀）

佐藤（さとう）　優翔（ゆうと）さん
（机）

◆いつから漁協定置網の仕事をしていますか
2人　今年の3月中旬からです。
◆この仕事を始めたきっかけは
佐藤　怖いけど面白い先輩が多いから。
川畑　祭りに出てくる船がいいなと思った。
◆村の好きなところは
佐藤　あえてコンビニが無いところ。
川畑　自然が豊かなところ。何でもできるところ。
◆「こんな村になってほしい」という希望は
佐藤　やっぱりコンビニがほしい（笑）
川畑　若者が増えてほしい。
◆最後に一言
佐藤　目指せ！水揚げ2億！
川畑　大漁祈願！



議会を傍聴しませんか

次回の定例会は、
12月中旬
の予定です

途中の入退室は自由です
お気軽にお越しください

お詫びと訂正

「議会だより」No.148（8月発行）の5ページ「補選で新体制が始動」におきまして、和山勝富議員の年齢表記に誤りがありました。
ご本人ならびに読者の皆様にご迷惑をおかけしましたことをお詫びし、次のとおり訂正いたします。
【誤】67歳
【正】64歳

あとがき

9月15日をもって、今年度のウニ漁の採捕期間が終了しました。
今年は凪に恵まれず、3回しか口開けが無く、残念でなりません。これも温暖化の影響かなと考えます。
振り返ってみると、昨年は口開け回数14回、殻付きウニ30トン、生ウニ0．3トンの水揚げでありましたが、今年度は遠く及ばないのかなと思います。
これより、9月から10月はマツタケ、11月から12月はアワビと、豊作大漁を期待してやみません。

広報公聴常任委員会
委員長　工藤　求



■発行　田野畑村議会　■編集　広報公聴常任委員会
〒028-8407　岩手県下閉伊郡田野畑村田野畑143-1
TEL 0194-34-2111　FAX 0194-34-2410